



## 避難について自ら考え、最適な選択を

3月に策定した「群馬県避難ビジョン」は、近年の豪雨災害を教訓とし、災害から逃げるという問題だけでなく、避難後に命を落としてしまう「災害関連死」への対策など、医学的な立場からもさまざまな検討を行ってきました。避難後における環境整備にまで及んで深く議論された計画は、全国でも初めてだと思います。

一方、近年の荒ぶる自然災害は、行政主体の対策だけでは防ぎ切ることができないとも考えています。そのためにも、県民の皆さん一人一人が「自分や家族、地域の命は自らの力で守る」という主体性を持ち、行動することが今まで以上に求められています。大切な人を守るためにはどうしたら良いのか考え、災害の恐れがあるときは躊躇なく避難という行動

防災・減災対策の専門家で「群馬県避難ビジョン」の策定に係る検討会議の座長を務めた、東京大学大学院の片田特任教授に伺いました。

を起こしてほしいです。

また感染症のリスクを避けるために、自身で最適な避難先を選択していただく必要もあります。特に車での避難は、今まで渋滞や健康面の心配などから避けるようにいわれてきました。しかし群馬県の実情を考えると、十分な安全確保ができる場合は、車での避難は有力な選択肢の一つになるでしょう。そのためにもハザードマップなどで安全な場所を確認し、日頃から避難先を考えておいてください。

近年の豪雨災害を見ると、災害が少ないといわれてきた群馬県も決して安全ではありません。皆さんが災害を「自分事」として捉え、いざというときに自ら行動してもらえることを願っています。



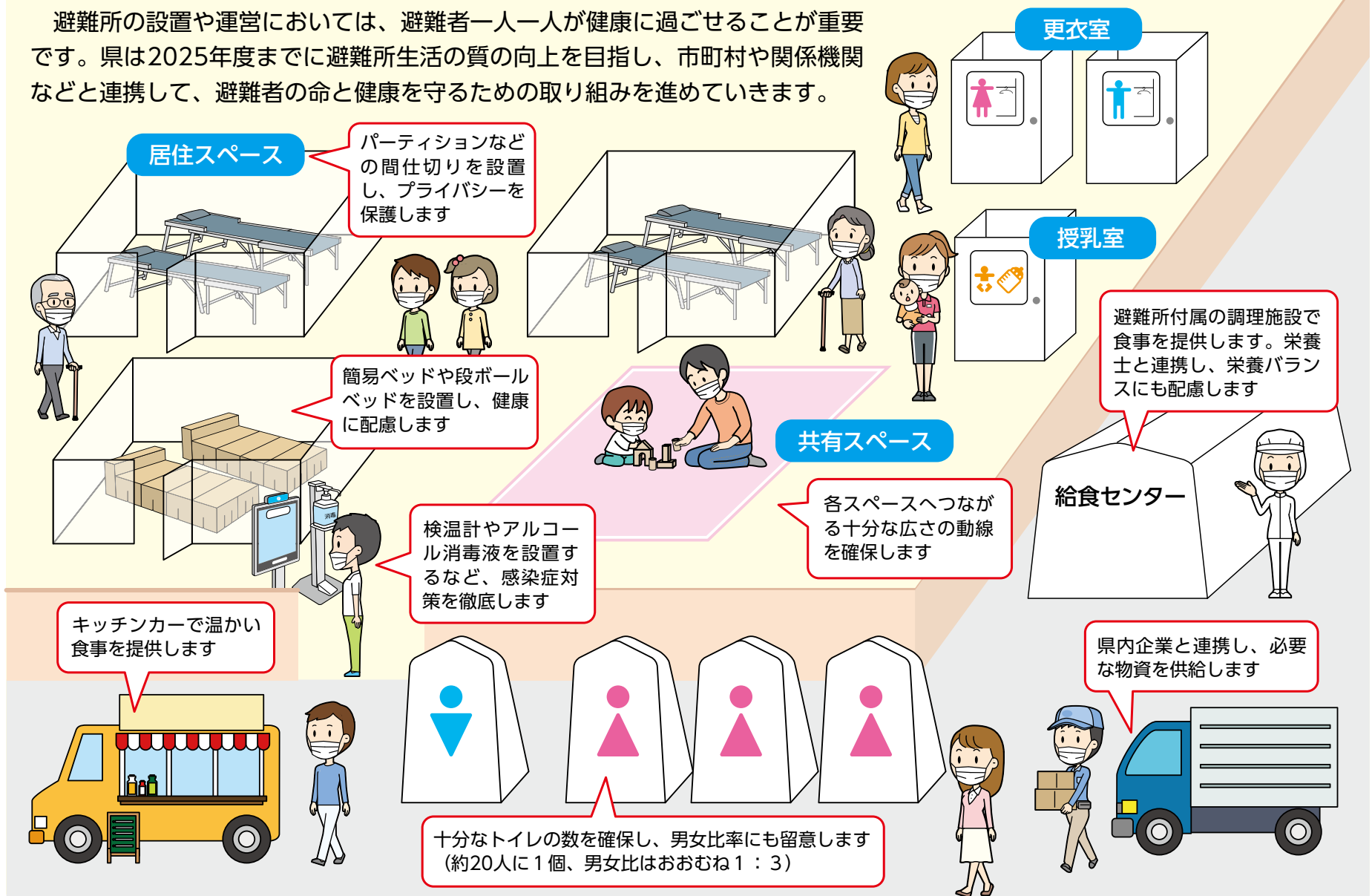
東京大学大学院  
特任教授 片田敏孝さん

### ポイント 2

## 避難所生活の質を向上する

- ① 命を守る避難
- ② 避難生活(短期)
- ③ 避難生活(長期)

避難所の設置や運営においては、避難者一人一人が健康に過ごせることが重要です。県は2025年度までに避難所生活の質の向上を目指し、市町村や関係機関などと連携して、避難者の命と健康を守るための取り組みを進めていきます。



### ポイント 3

## 自然災害にオール群馬で立ち向かう

- ① 命を守る避難
- ② 避難生活(短期)
- ③ 避難生活(長期)

県、市町村、企業、地域コミュニティなどで構成する「群馬避難総合対策チーム」を結成し、共同訓練などを始め、平時から群馬県が一丸となって、避難ビジョンの実現に向けた体制整備を進めていきます。

### 主な取り組み

- ・自治体間での迅速な支援物資の援助や職員の派遣
- ・市町村をまたぐ広域避難における避難所の入所調整
- ・避難所で食事や物資の管理を行う人材の育成

### 新たな連携体制構築のイメージ

これまでの連携体制を見直し、各関係者が迅速・効果的に連携できる仕組みを構築します。

